

子どもたちの公共心を育むために

<本校の道徳教育の重点目標です！>

<1・2年生では>

幼い人や高齢者に温かい心で接する ○働くことのよさを感じて、みんなのために働こうとする

<3・4年生では>

相手のことを思いやり親切にする ○働くことの大切さを知り、進んでみんなの役に立とうとする

<5・6年生では>

誰に対しても思いやりの心をもって親切にする ○自分の役割を自覚し、進んで集団の向上に役立とうとする

平成27年度 安城市立錦町小学校 道徳教育を推進します！

家庭の方へ

○今年も「にしきっ子の会」に参加し、子どもの学びを御覧ください。

○10月に全クラス一斉道徳授業の公開をします。ぜひ御参観ください。

地域の皆様へ

○挨拶運動に取り組んでいます。挨拶のあふれる地域づくりに御協力ください。

○「七夕まつり」や「琴の演奏会」での、子どもたちの作品や、演奏を御鑑賞ください。

こんなゲストティーチャーに学びます

<大胡田さんの声>

4回司法試験に失敗したとき、母は「自分の心が温かいと思う方に進みなさい」と言いました。5回目で合格。今、困っている人の役に立てることが幸せです。



大胡田誠さん

(全国で3人目の全盲の弁護士として活躍中)

今年度のゲストティーチャーは、全盲の弁護士・大胡田誠さん、交通事故で両手を失った後、教師の夢をかなえた小島裕治さんです。小島さんは、西尾市の中学校の先生です。

<子どもの声>

目が見えなくても、弁護士の夢をかなえた人に会えて感激！大胡田さんの言葉は温かかったよ！

<地域の声>

困難を乗り越えて前向きに生きる人に会えて子どもたちは幸せです。私たちも元気が出ます。

<家庭の声>

いろいろな分野で活躍するゲストティーチャーに会えて子どもは大喜びです。親子で聞けるので、家庭でも話題にしています。